

1 次世代層へのエネルギー・環境教育の展開

「九電みらいの学校」*の一環として、エネルギー・環境への関心を育む活動を、九州各地で展開しています。

*:「わくわく、かがやく」をスローガンに、エネルギー・環境教育をはじめ、文化・芸術・スポーツの分野において、様々な活動を行う次世代層支援プロジェクト。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 九電みらいの学校

(1) エコ・マザー活動

子どもたちへの環境教育支援と、ご家庭における環境教育の担い手である保護者の皆さまへの環境情報提供を目的として、「エコ・マザー活動」を展開しています。

この活動は、九州各地で、地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境問題への「気づき」となる環境紙芝居の読み聞かせなどを行うことを通じ、小さなお子さまに環境に配慮することの大切さを伝える活動です。

2003年度から開始したこの活動は、2012年度までに2,408回実施し、およそ16万名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

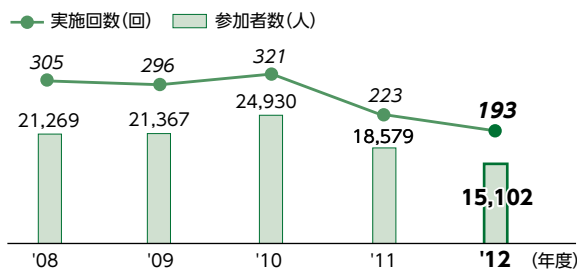


杉の子保育園 (福岡県北九州市)

用語集を
ご覧ください

- エネルギー・環境教育
- 地球温暖化

エコ・マザー活動実績

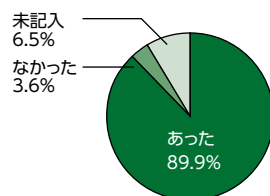


WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > エコ・マザー活動

■ 参加いただいた幼稚園・保育園の先生や保護者の声

エコ・マザー活動にご参加いただいた幼稚園等の先生や保護者の方からは、「園児から『もったいない』という言葉をよく聞くようになり、節電に協力的になった」、「子どもたちが身近に体験できる環境活動をこれからも続けて欲しい」等の声をいただいています。

エコ・マザー活動実施後の子どもの変化 (2012年度)



■ 活動ツール

省エネルギーや環境問題について、以下の2つのお話をもとにお子さまたちにペープサート(紙人形劇)や紙芝居を実演するとともに、保護者の皆さまにはその内容と、ご家庭で取り組むことのできる省エネ活動などが記載された冊子を配布しています。

「もったいないはちきゅうをまもるココロパ!」



【ストーリー (省エネルギーを題材とした紙人形劇)】

つけっぱなしにして出かけたことで、「たくちゃん」一家のテレビが熱で真っ赤になり、他の家電製品たちも大騒ぎ。この出来事を通じて、一家が省エネに目覚める物語。

「もりじいとなかまたち」

【ストーリー (環境問題を題材とした紙芝居)】

幼い兄妹が、「森の大木」や「雲」、「清流」など「自然の仲間たち」から、地球温暖化や河川の汚染などの環境問題で困っていることを聞かされ、「環境を守るために自分たちにもできること」を考え、行動へのきっかけとする物語。



(2) 環境教育支援活動

学校教育や市民活動における環境教育支援の一環として、女子畑発電所ダム周辺にある「女子畑いこいの森」(大分県日田市)や、「山下池周辺の社有林」(大分県由布市)において、当社が持つ豊かな自然環境を活用した環境教育支援活動を市民団体の皆さまと協力しながら展開しています。

「女子畑いこいの森」においては、2002年度から女子畑発電所ダム周辺の植樹地及び自然を活用して、「自然観察会」、「木工教室」、「エネルギー教室(水力発電所や地熱発電所の見学)」など体験型の環境教育支援活動を実施しています。また、2006年度からは「山下池周辺の社有林」における自然観察会を追加し、内容を充実しています。

2002年度からこれまで、およそ100団体、3,500名以上を受け入れました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 環境教育支援活動



山下池周辺の社有林での自然観察会の様子



用語集をご覧ください

- ステークホルダー
- 社有林

(3) 出前授業

エネルギー・環境問題などについて、楽しみながら学んでもらう事を目的に、九州各地で出前授業を実施しています。2012年度は、小・中学校等で349

回の出前授業を実施し、13,478名の子どもたちとエネルギーや環境について考えました。

出前授業担当者の声

未来を担う子どもたちに「電気の大切さ」を伝えていきます

長崎お客さまセンター
佐世保営業所 計画グループ
まつした あすか
松下 明日香



出前授業の講師となりもうすぐ2年が経ちます。初めての授業の前は「楽しんでもらえるだろうか?」「興味を持ってもらえるだろうか?」という緊張や不安から、大好きな食べ物も喉を通りませんでした。

しかし、いざ授業を始めると、目をキラキラと輝かせながら実験道具を手にとる子どもたちの笑顔が教室いっぱい溢れていました。子どもたちは授業を通して、電気が生活に欠かせないことや発電にはたくさんのエネルギーが必要なことを自然と感じ取ってくれるのだとわかりました。

子どもたちから「寝る前にはブレーカーを切る!」という宣言が飛び出すなど、一人ひとりが省エネについて真剣に考えてくれることが、何よりの喜びです。

これからも、子どもたちと一緒に楽しみながら、しっかりと電気の大切さを伝えていきます。



出前授業風景